

第115期

# 中間報告書

自 2025年4月 1日

至 2025年9月30日



**Fly to the Next**



東洋埠頭株式会社

# 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、2025年9月30日をもって第115期の中間決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付け、安定した配当政策を実施することを基本としております。この中間期の配当につきましては、既に決算短信にて公表しておりますとおり、1株につき30円とさせていただきます、11月28日からお支払いすることといたしました。

株主の皆さまにおかれましては、何卒変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

2025年11月

原 匡史

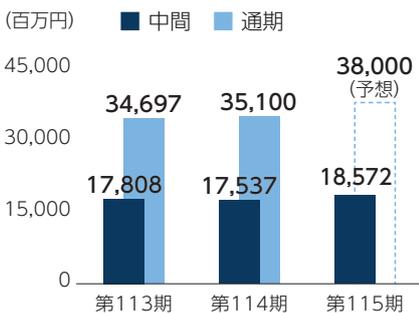


## 業績ハイライト

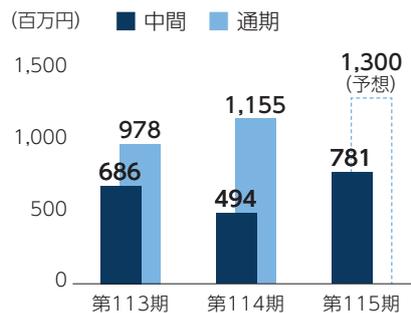
当中間連結会計期間は、米国の通商政策、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の緊張などのリスクの高まりにより、依然として不透明な状況にて推移いたしました。

物流を取り巻く環境は、深刻な人手不足や諸費用の高止まりなど厳しい状況が続きました。

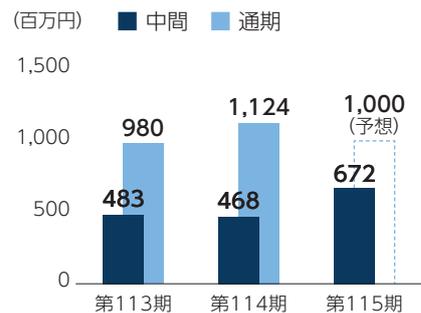
### 営業収益



### 営業利益



### 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

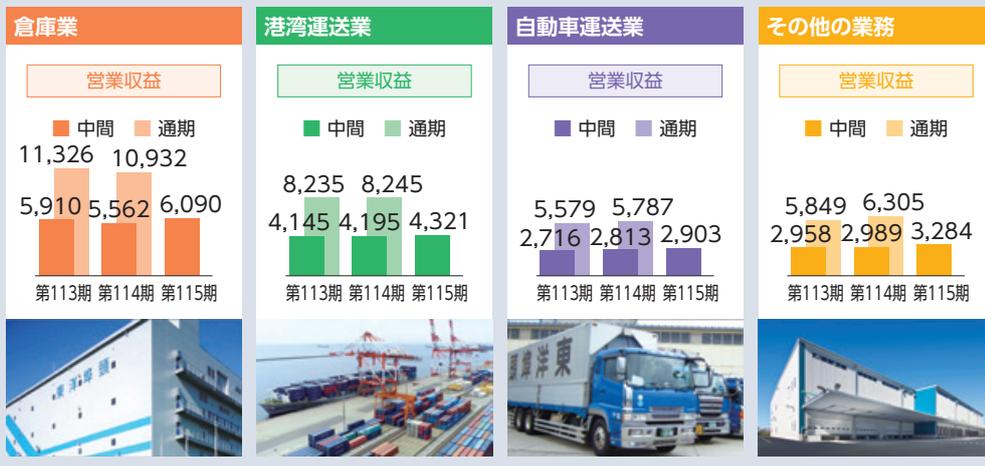


## 事業別概況

### 国内総物流事業 営業収益 16,599百万円

倉庫保管残高は前年同期を下回りましたが、取扱数量が前年同期を上回りました。

単位：百万円



### 国際物流事業

営業収益

2,131百万円

ほぼ前年同期と同様の取扱数量となりました。

単位：百万円



## 1 博多支店 新倉庫の竣工、倉庫の更新

博多支店では、災害に強い施設の拡充を図るため、計画的な倉庫の更新を実施しております。更新に当たり、工事期間中、業務に支障をきたさないよう、新たに天井クレーン付き倉庫を増設し、2025年8月に竣工いたしました。今後、更新工事を行い、既存倉庫の更新が終了した後は、取扱貨物の幅が広がり、効率的な荷役を可能といたします。

当社グループは、計画的に倉庫の更新を行い、最新設備により機能を強化させ、現在の物流需要に対応してまいります。



## 2 東扇島支店 川崎港新規航路の開設

当社グループが運営に参画している川崎港コンテナターミナルでは、2025年6月に新たな日韓航路が開設されました。川崎港からは、韓国のみならず、釜山港経由により、北米、中南米、欧州などを結びます。2027年度には、川崎港と内陸部をつなぐ新たな道路が完成予定であり、陸上の交通アクセスも向上いたします。



当社グループは、後背地にある京浜港におきまして最も規模の大きい冷凍冷蔵倉庫群や、大型物流施設などを活用してお得意さまの物流ニーズに対応するとともに、川崎港の便利な立地を活かしてサプライチェーンの安定化に一層貢献してまいります。

## 3 DXの推進 国際物流業務の海空一体型システムの導入

当社グループは、国際物流業務における航空輸送と海上輸送を一体管理できるシステムを導入いたしました。見積書作成から輸送手配、請求・支払管理まで、一つのシステムを使用して作業が可能になりました。これにより、業務の標準化、作業進捗の可視化を実現いたしました。さらに、航空輸送では、貿易書類の電子化も進めております。

当社グループは、今後もDX推進によりお得意さまの利便性を向上させるとともに、業務の効率化・強化を図ってまいります。

## 4 サステナビリティへの取り組み

### 川崎支店 神奈川新聞社の取材への対応

川崎支店では、神奈川新聞社の企画である「海の日特集」の一環として、高校生記者による取材活動に協力いたしました。これは、川崎市の海の玄関口である川崎港の多彩な役割を紹介し、港湾物流の現場を若い世代へ身近に感じてもらうことを目的としたものです。



### 川崎港コンテナターミナル見学会の開催

当社グループが運営に参画している川崎港コンテナターミナルにおきまして、大学生を対象に日本船主協会主催の川崎港見学会が開催され、当社グループの従業員が案内役を務めました。参加者には、コンテナの荷役作業や冷蔵コンテナの温度管理技術の体験などを通して、港湾物流への理解を深めていただきました。



当社グループは、今後も報道機関、地元の自治体や各団体と協力し、事業を通じた社会貢献を継続してまいります。

## 5 株主還元策の実施

### 増配の実施

2025年3月期の連結業績は、前期比増収増益となり、営業収益及び各利益ともに連結業績予想値を上回りました。よって、配当方針に基づき、期末配当を直近予想の1株当たり30円から5円増配し、中間配当金25円を含めた年間配当金は1株当たり合計60円といたしました。

### 自己株式の取得

当社は、自己株式の取得を2025年2月28日の取締役会にて決議しており、2025年4月1日から2025年7月31日までの取得期間におきましては、81,900株・総額107百万円（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.11%）の自己株式を取得いたしました。

今後も株式市場にて適正な評価を得るため、「企業価値の向上」「株主還元策の実施」「IRの充実」に継続して取り組んでまいります。

## 6 第114回定時株主総会の開催

2025年6月26日（木）TOC有明（東京都江東区有明）におきまして、第114回定時株主総会を開催いたしました。株主さまから多くの質問をいただき、株主の皆さまとの対話を深める貴重な機会となりました。

## 会社の概要 (2025年9月30日現在)

商号	東洋埠頭株式会社
創業	1929年5月
資本金	82億6,082万3,456円
従業員数	334名 (当社グループ861名)

## 役員 (2025年9月30日現在)

代表取締役社長	原 匡 史
専務取締役 (川崎支店長)	西 修 一
常務取締役 (業務部長、関西・中部地区統括、青果営業部、国際営業部、経営企画部、デジタル推進部、選果部管理)	三 上 慎 治
取締役 (執行役員志布志支店長、九州地区統括、コンテナ事業推進部管理)	富 永 超
取締役 (執行役員経理部長、総務部、情報管理部、業務監査部、安全・品質管理部、広報部管理)	大 野 武 一
社外取締役	堀 龍 義
社外取締役	南 部 雅 実
取締役 (常勤監査等委員)	鈴 木 康 司
社外取締役 (監査等委員)	山 本 博 毅
社外取締役 (監査等委員)	鴛 田 英 之
社外取締役 (監査等委員)	杉 本 尚 子

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他臨時に必要なときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主に対して行います。
公告掲載URL	https://www.toyofuto.co.jp 電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

## 株式の状況 (2025年9月30日現在)

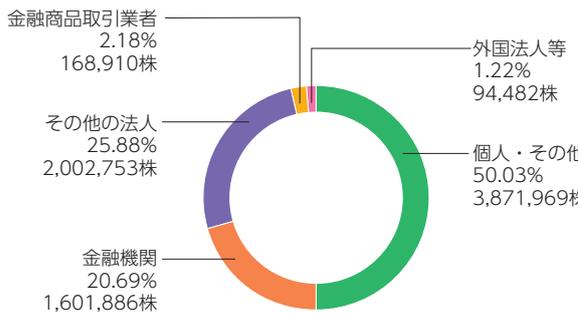
発行可能株式総数	25,830,000株
発行済株式総数	7,740,000株
株主数	6,671名

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
第一生命保険株式会社	468千株	6.39%
三井埠頭株式会社	348	4.75
株式会社デイ・シイ	311	4.25
朝日生命保険相互会社	266	3.64
東洋埠頭従業員持株会	213	2.91
篠川 宏明	210	2.86
明治安田生命保険相互会社	207	2.83
株式会社三菱UFJ銀行	188	2.57
株式会社みずほ銀行	188	2.57
太陽生命保険株式会社	188	2.57

(注) 上記のほか、自己株式を422,171株所有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況 (2025年9月30日現在)



(注) 自己株式422,171株は「個人・その他」に含めております。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
及び電話連絡先	郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 (スタンダード市場)
証券コード	9351

### 表紙説明 (Fly to the Next)

2028年度に創業100周年を迎えるにあたり、会社を発展させ、明日に向かって前進、飛躍しようという決意を込めたイメージデザインです。

